

第2回 カジノ管理委員会契約監視委員会議事概要

- 1 日時 令和4年6月27日（月）9：50～10：40
- 2 場所 カジノ管理委員会12階大会議室（web会議システムを併用）
- 3 出席者 委員長 工藤 裕子 中央大学法学部教授
委員 大森 明 横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授
委員 野口 貴公美 一橋大学大学院法学研究科教授
- 4 議事概要
 - （1）開会（冒頭、委員の互選により、工藤委員が委員長として選任された。）
 - （2）調達案件の審議
令和3年4月1日から令和4年3月31日までの間に締結した契約のうち、委員が抽出した調達案件2件について審議が行われた。審議の概要は別紙のとおり。
 - （3）閉会

意見・質問	説明・回答
1 カジノ関連機器等の賃貸借及び保守業務並びに賃貸借機器の仕様及び技術規程の解説業務	
1 者応札となっているが、問い合わせは何者からかあったのか。	本件の入札説明書を入手した業者は11者いたが、入札に参加した業者は1者のみであった。
仕様書の条件で国内に入札可能な業者はいるのか。そもそも市場規模があるのか。	海外にはカジノ関連機器を製造する業者が複数存在しているが、日本語対応など仕様書に対応可能な業者は1者と認識している。
国内外には複数の業者が存在したとしても、仕様書の業務を全て実施できる業者が限定的になるのであれば、競争が作用する部分を切り出して入札すればよいのではないのか。	業者にヒアリングしたところ、競争性のある部分と競争性のない部分を切り分けて調達した場合、各機器の接続時に個社情報が必要となり、情報管理面から難しいとの情報を得ている。
一般競争入札を実施することは大切であるが、市場がない場合であれば、随意契約を行ってもよかったのではないのか。 一般競争入札とした理由は何か。	特定複合観光施設区域整備法施行規則が施行される時期であったことから、国内業者がカジノ関連機器の開発を開始している可能性や、国外業者が日本国内に参入してくる可能性が期待されたことから、一般競争入札を実施した。
入札説明書を入手した業者は11者いたが、参加しなかった業者へのヒアリングが1者だけであった理由は何か。	ヒアリングを実施するに当たり、入札に参加しなかった業者10者のうち、実際に業務を履行できると判断された業者が1者のみであったため。
2 調査支援システムの設計・構築及び運用・保守等業務	
契約先が2者となっている理由は何か。また、2者となったことにより契約金額の総額に変更はあるのか。	本件はシステムを構築し、その後システムを賃貸借するという業務であるが、賃貸借部分を第三者による貸し付けとし、3者間で契約締結を行っている。 賃借料は契約金額の一部であるため、契約総額に変更はない。
総合評価方式による入札を行ったものの1者応札であり、総合評価の点数も低い。仕様書通りのシステムができるよう、クオリティは担保されているのか。	技術点の審査については、カジノ管理委員会の職員だけでなく、当時の政府CIO補佐官を含む4名の技術等審査委員で審査している。必須要件である基礎点はクリアしており、質の担保に問題はないと考えている。
入札説明会の開催や入札公告期間の確保など努力は見られるが、1者応札を回避する取組は他にも行ったか。	当時の政府CIO補佐官から技術的専門的な支援を受けながら、情報システムの要件定義の明確化、特定の事業者に有利な仕様とならない工夫を行った。

<p>高額な案件であるが、予定価格の算定にあたり、どの様な調査を行い価格が算定されたのか。</p>	<p>予定価格の算定にあたり、3社から参考見積りを徴収し、最も安いものを基準として予定価格の算定を行った。</p>
<p>A等級の企業が意見招請や説明会に複数者参加したにもかかわらず、入札に参加しないと判断したということは、調達新时期に照らし仕様書の内容がかなり厳しいと推察される。今後、こういったレベルの高いシステムを構築する場合は、可能な限り早めに入札を行うべきである。</p>	<p>今後は調達新时期についても考えていきたい。</p>
<p>専門家による技術審査を行ったとしても、総合評価点が低い場合は、品質リスクを洗い出した上で、契約後もモニタリングをしていく仕組みが必要ではないか。</p>	<p>技術点には、仕様書の通り実施できるかを審査する基礎点部分と、より良いシステムにするための提案を審査する加点部分がある。加点部分はより良い機能等について加点していくため、今回は加点が少ない審査結果となった。</p>
<p>契約額が大きく、ある程度の期間が必要だと思うが、なぜ契約期間を5年としたのか。</p>	<p>システムの構築期間に1年、借入するサーバー機器等の減価償却期間を4年とし、国庫債務負担行為を活用した5年間の契約とした。システム構築では多く採用される期間となっている。</p>